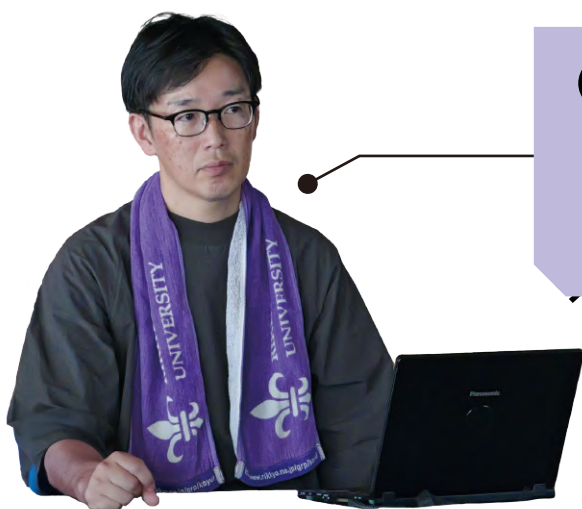


# 災害ボランティア勉強会

～令和6年能登半島地震の実情と学生ボランティア～

ボランティアセンターでは、「立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト（令和6年能登半島地震）」を立ち上げ、石川県七尾市和倉温泉を拠点に、卒業生とのつながりを活かした立教独自の支援活動に取り組んできました。

今回は、同プロジェクト第2弾の活動先でもある老舗旅館「多田屋」を経営する多田健太郎さんをお招きし、和倉温泉の創造的復興まちづくりに取り組む立場から現地の実情について伺ったり、災害ボランティアの可能性や価値について一緒に考えたりしていきます。



## ゲスト 多田 健太郎さん

- 老舗旅館「多田屋」代表取締役社長
- 和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会 代表
- 立教大学 卒業生（経営学科）

1976年石川県七尾市生まれ。立教大学経営学科卒業。アメリカのカリフォルニア州で2年間の留学を経験し、(株)サイバーエージェントに入社。その後、多田屋の大阪営業所に1年、東京営業所に2年在籍し、2006年に多田屋へ。2015年9月に多田屋の代表取締役社長就任。現在は、和倉温泉の復興に向けて中心的に取り組む「和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会」の代表も務める。

11/11 月  
16:00-17:30

会場 立教大学 池袋キャンパス  
6号館 6209教室

対象 本学学部生・大学院生、本学教職員

参加費 無料

申込み WEBフォームから



## 「立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト（令和6年能登半島地震）」第2弾の活動映像の上映会

多田さんが経営する老舗旅館「多田屋」をはじめ、石川県七尾市にある観光地「和倉温泉」で実施した立教チームの活動と現地の現状を映像でお伝えします。また、現地の方々の声や学生ボランティアの想いを重ね合わせ、学生メンバーが新たにまとめた立教チームの「活動ビジョン」を共有し、まちづくり協議会の代表でもある多田さんからフィードバックをいただきます。

## 多田健太郎さんにお聞きする 「被災地の現状と創造的復興まちづくり」

## みんなで考える“学生ボランティアの可能性”

ゲストや参加者の関心・疑問を掘り下げながら、場にいる全員で「学生ボランティア」の価値や可能性について考えていきたいと思います。

立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト  
令和6年能登半島地震

「立教チームでつなぐ被災地支援プロジェクト（令和6年能登半島地震）」は、石川県七尾市和倉温泉地域に対して、立教生がバトンをつなぎながら継続的に支援を行っていくプロジェクトです。

主催：立教大学ボランティアセンター

E-mail：volunteer@rikkyo.ac.jp（キャンパス共通）

ボラセン  
note



ボラセン  
YouTube

